

令和5年2月

町長日誌

少しずつ三寒四温の気候になってきました。まだまだ日南町では気温がマイナスになることもあり、早く春が来ないかと待ち遠しく思います。

さて、例年実施しています7つの地域との「まちづくり懇談会」を、今年度は2月に行いました。今年度は、地域から出されたテーマと、私が選挙公約に掲げていました「共創と協働のまちづくり」について、それぞれ意見交換をしました。

私が掲げる「共創と協働のまちづくり」とは何か、概要を紹介させてください。

私たちの町は、農林業を基盤として暮らしを築いてきました。

昭和の高度成長期には、工業化の進展により地方から都市部への人口流出が続いていました。平成は情報化の時代といわれ、携帯電話をはじめとして様々な分野で情報化が進展しています。人口は依然として都市部に集中しています。

「地方創生」の政策が始まってから、8年が経過しようとしています。それぞれの地域が魅力発信を行ったり、地域おこし協力隊が活躍したりしていますが、

日本の出生数は年々減少を続けており、令和4年には80万人を下回りました。これには新型コロナウイルス感染症の影響があると考えられています。また、ロシアのウクライナ侵攻の影響による、エネルギー価格や物価の高騰も続いています。

こうした社会の転換期の中、これからのまちづくりには、すべての事業において「共創」と「協働」が肝要であると考えています。町民のみなさんや議会、産官学等の様々な立場のみなさんと「共創」の中で新たな価値を生み出していきたい、そして、「協働」で持続可能なまちづくりに向けて邁進したいと思います。

私たちの町には、住んでいる私たちには気づきにくい魅力がたくさんあると思っています。こうした魅力ある資源を生かした取り組みを進め、次世代につなげていきたいと思っています。みなさんのご理解とご協力をお願いします。

令和5年2月27日 日南町長 中村英明